

第33回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



内閣総理大臣賞 図画3部 「収穫作業」

山形市立第九中学校3年 栗野 梨恵さん



平成21年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

第33回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

○内閣総理大臣賞

(図画 3 部) 栗野 梨恵 山形市立第九中学校 3年

○優秀賞

(作文 2 部) 鈴木 彩 鶴岡市立斎小学校 5年
(図画 2 部) 會田 次郎 山形市立南小学校 6年

○学校奨励賞

山形市立第九中学校

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 押野 明純 鶴岡市立朝陽第二小学校 2年
山形県農協中央会会長賞 会田 空翔 山形市立出羽小学校 1年
優秀賞 井上 秀香 真室川町立平枝小学校 1年
山口 まの 鶴岡市立朝日大泉小学校 1年
伊藤南奈美 鶴岡市立朝日小学校 2年
渡部 寿彦 鶴岡市立斎小学校 2年
黒井 紀香 鶴岡市立藤島小学校 3年

●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 鈴木 彩 鶴岡市立斎小学校 5年
山形県農協中央会会長賞 伊藤 浩司 鶴岡市立朝日小学校 6年
優秀賞 瀬川 隼矢 庄内町立余目第四小学校 4年
金野 華奈 鶴岡市立羽黒第三小学校 4年
保科 拓也 鶴岡市立京田小学校 5年
尾形 有生 米沢市立西部小学校 5年
進藤小百合 米沢市立三沢東部小学校 6年

●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 有賀この美 鶴岡市立朝日中学校 2年
山形県農協中央会会長賞 我妻 隆羅 米沢市立第四中学校 2年
優秀賞 小野寺奈々 鶴岡市立朝日中学校 1年
安達 景都 鶴岡市立朝日中学校 1年
小野寺千尋 鶴岡市立朝日中学校 1年
小野寺陽奈 鶴岡市立朝日中学校 2年
佐藤 理奈 山形市立蔵王第一中学校 3年

●学校奨励賞

鶴岡市立斎小学校
鶴岡市立朝日中学校

図画部門

●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 阿部 篤 尾花沢市立明德小学校 1年
山形県農協中央会会長賞 菅野 颯 尾花沢市立明德小学校 3年
優秀賞 島津 諒 高畠町立二井宿小学校 1年
加藤 翔龍 尾花沢市立尾花沢小学校 1年
佐藤 愛竜 尾花沢市立福原中部小学校 2年
藤井美名保 尾花沢市立上柳小学校 3年
佐藤 崇人 鶴岡市立大泉小学校 3年

●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 會田 次郎 山形市立南小学校 6年
山形県農協中央会会長賞 押野 尚道 鶴岡市立朝陽第二小学校 4年
優秀賞 伊藤 陸 天童市立成生小学校 5年
今野杏有子 三川町立押切小学校 5年
藤田 麗 鶴岡市立三瀬小学校 5年
井上 和也 尾花沢市立明德小学校 6年
伊藤 浩司 鶴岡市立朝日小学校 6年

●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 武田可奈子 山形市立金井中学校 1年
山形県農協中央会会長賞 岡部 咲 山形県立酒田聾学校中学部 2年
優秀賞 佐藤 緑 山形市立金井中学校 1年
渡邊 千咲 山形市立金井中学校 2年
上林 穂末 山形市立第九中学校 3年
鈴木 里奈 山形市立第九中学校 3年
加地 明里 米沢市立第四中学校 3年

●学校奨励賞

尾花沢市立明德小学校
山形市立金井中学校



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 遠藤芳雄

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心から御礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。

三十三回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文三七三点、図画九八九点もの力作を応募いただき、全国コンクール図画部門でコンクール最高位の内閣総理大臣賞を受賞するという素晴らしい成績を修めました。また、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらい、稲作農業を通して人々とのコミュニケーションをはかっていたために実施しております。今回の皆さんの作品は、身近な人とかかわり合いの中で、自分の生活をしっかりとみつめ、家族への思いやり、家族や友達と食べるごはんのおいしさ・うれしさを感じたことが伝わってくるものでした。また、ごはん食や実体験を通して、稲作農業の果たす役割の大きさを知ったことなども、素直に表現されていました。これからも、日常生活の中にある本当の豊かさに目を向けてください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦労や努力

を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。

また、家族を大切にする心、自然を大切にする心、生き物すべての命を大切にする心を育み、いつまでも持ち続けてください。

さて、日本が経済大国といわれるようになって久しいですが、豊かな生活の中で、多くの大切なものを失いつつあります。食生活の面からみると食料自給率は、四〇%と、先進国の中では最低の水準にあり、いざという時、食べ物が足りなくなるとい状況が心配されます。また、朝食を食べないなど、特に若い世代を中心とした食習慣の乱れや栄養バランスの偏りが見受けられ、これらは生活習慣病の増加や、命を軽視した事件の多発化につながり、大きな社会問題となっております。

こうした中、私たちJAグループは、みんながよい食を本気で考え実践する「みんなのよい食プロジェクト」の運動を展開しており、日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進と食料自給率の向上、地産地消の普及、小・中学校の農業体験をはじめとする地域の特徴を活かした食農教育の推進に取り組んでいます。

また、食品の流通を追跡できる仕組み作り（トレーサビリティ）や、農薬などを抑えた環境保全型農業など将来にわたって安全・安心な国産農畜産物を提供するために一層努力をしております。最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

内閣総理大臣賞



「収穫作業」

山形市立第九中学校三年

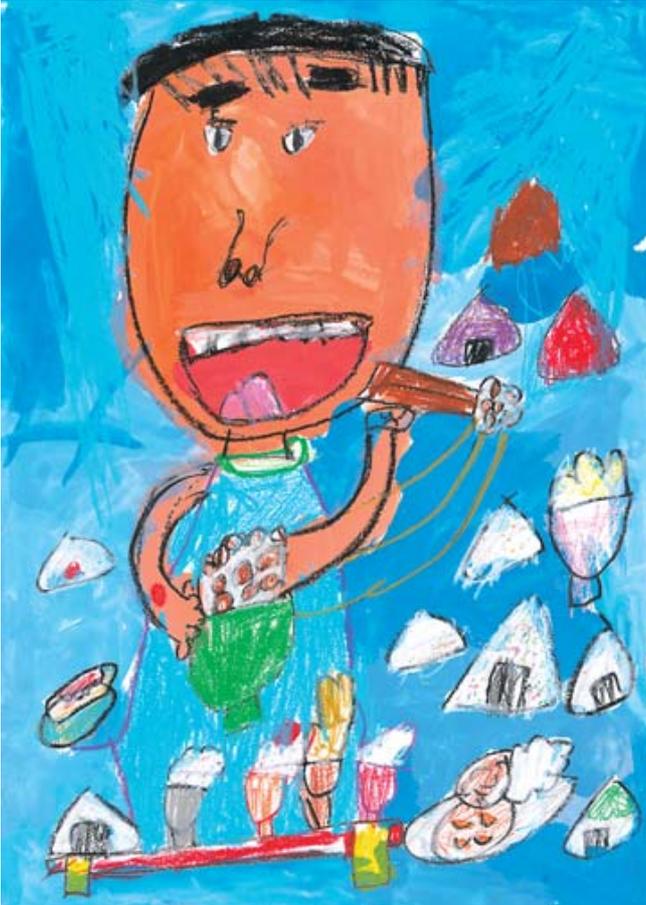
栗野梨恵

■山形県知事賞■

「ごはんだいすき」

尾花沢市立明德小学校一年

阿 部 篤

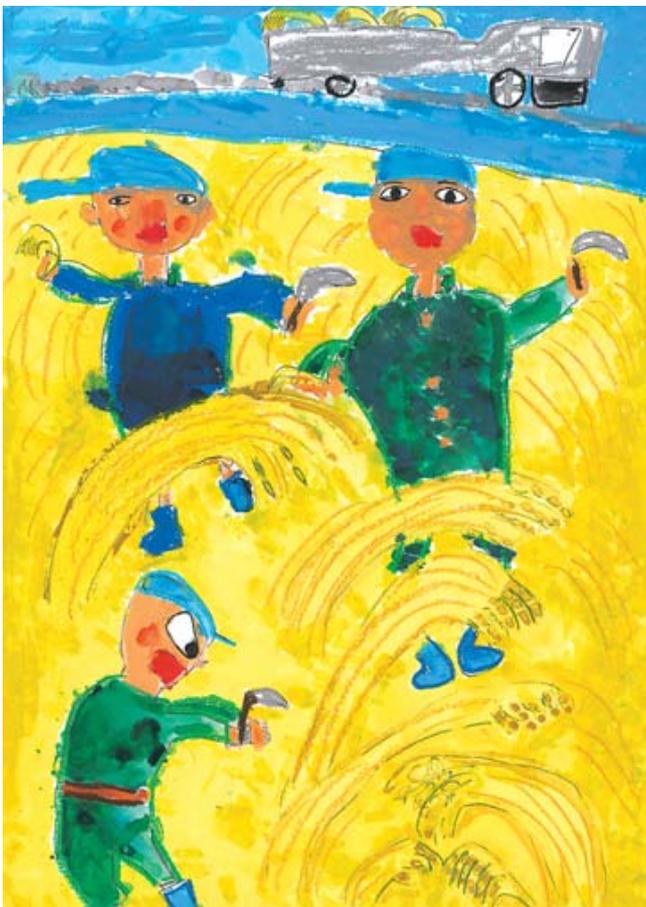


■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「いねかり手つだうよう!!」

尾花沢市立明德小学校三年

菅 野 颯



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「初荷だ、出荷だ、新米だ！」

山形市立南小学校六年

會 田 次 郎



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「うまい！あらいごはん」

鶴岡市立朝陽第二小学校四年

押 野 尚 道

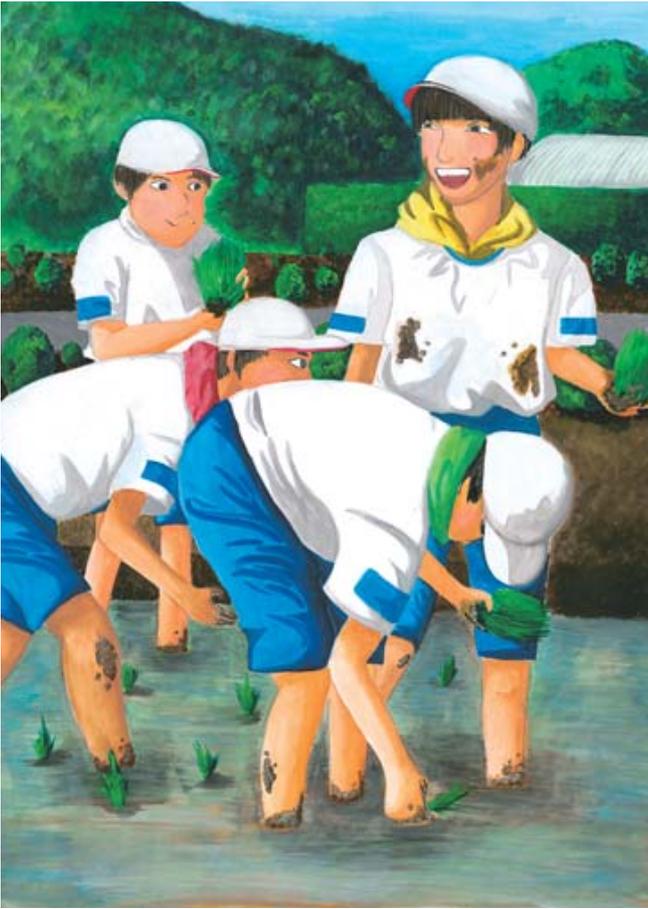


■山形県知事賞■

「おいしいお米になるといいな」

山形市立金井中学校一年

武 田 可奈子



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「私の周り、稲と友」

山形県立酒田聾学校中学部二年

岡 部 咲



■山形県知事賞■

あらいごはんとらいご

鶴岡市立朝陽第二小学校二年 押野 明純

「ばあちゃん、今日のお昼は、あらいごはんにしてね。」
 わたしは、あらいごはんが大好きです。なつ休みに、
 おばあちゃんのうちにいくと、かならずあらいごはんを
 食べます。あらいごはんの作り方はとてもかんたんで、
 さいこうにおいしいです。わたしにもかんたんにつくれ
 ます。まず、ざるにごはんを入れます。つぎに、つけも
 のやしやけをじゅんびします。それをもって外のいど水
 が出るところにいけます。そして、水を出していきおい
 よくざるのごはんをあらいます。これでかんせいです。
 あとは、手でごはんを食べて、ナスづけを一口食べると、
 もうとまりません。つぎつぎとじゅんばんに、ごはん、
 ナスづけ、ごはん、しやけ、ごはん、キュウリづけ……。
 気がつくと、いつもごはんを食べる三ばいも食べていま
 す。おなかがプツとふくらんで、うごけなくなるくら

いです。こんなにかんたんで、こんなにおいしいのは、
 ほかにないなと思います。ばあちゃんも

「こでらんねー。」

といつて、もりもり食べます。お兄ちゃんもおにごは
 んつぶをつけながら、むしやむしや食べます。

わたしは、家でも時どきあらいごはんをやってみます。
 だけど、ばあちゃんちで食べる方がおいしいなーと思
 います。お母さんは、

「ばあちゃんちは、いど水だからじゃない？」

といえます。わたしはそれに、外で食べるからおいし
 のかなと思います！

今年の夏休みも、ばあちゃんのうちであらいごはんを、
 何回も食べました。何回食べても、おいしくておいしく
 て、ばあちゃんと、

「こでらんねー。」

といつて、大わらいしました。ばあちゃんのうちで食
 べるあらいごはんは、やっぱりさいこうです。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

にっぽんーのおこぎり

山形市立出羽小学校一年 会田 空翔

ぼくのばあちゃんのなまえは、よねこです。だから、ぼくは、ばあちゃんをねえちゃんとよんでるんだよ。

ぼくは、がっこうにいくとき、田んぼみちをとおります。いねが、きいろで、おこめがたれさがついています。まるで、おじぎをしているようです。いなごもとんでいます。

がっこうのかえりに、田んぼみちをとおるとおなかですいて、ねえちゃんのおにぎりをたべたくなるんだよ。

ぼくが、がっこうから、かえってくる、ねえちゃんは、いつも、すぐくおおきなおにぎりをつくってくれます。

おにぎりのなかみは、いつも、べにジャケです。ほつぺがおちるほどおいしいよ。たべるとげんきもりもりになります。ねえちゃんのおにぎりは、にっぽんー。

ぼくは、おにぎりをたべてから、いっぱいおともだちとあそびます。

ねえちゃんは、おこめで、おやつをつくってくれます。

ほしたごはんをあぶらであげたおかしです。あまくて、ちよつとしょっぱいです。そのおかしが、だいすきです。このおかしは、おちゃのみにくるおきやくさんも、

「おいしい、おいしい。」
といます。

ねえちゃんは、のこったごはんも、たいせつにします。そして、

「のうかの人が、いっしょうけんめいにつくったおこめだから、たいせつにするんだよ。」

といつもいっています。

だから、ぼくは、きゅうしよくのごはんとおうちのごはんは、のこさないで、ぜんぶたべています。

■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

知恵と努力のバトンリレー

鶴岡市立斎小学校五年 鈴木 彩

私は、小学三年生の時から自由研究として「プランターで稲作」に取り組んでいます。

一年目は、親せきのおばさんや学校の先生に指導を受けたり、本を読んで稲作に取り組みました。その結果、無事にお米を収かくできて大満足の研究になりました。

二年目の去年は、大失敗でした。去年成功したから今年も大丈夫だろうと油断してしまっただけです。種まきの時期も遅くなり、なかなか生長しなくて田植えも遅くなり、学校の行き帰りに見る田んぼの苗は青々と元気そうにしている、私のプランターの田んぼとくらべるととてもみじめな気持ちになりました。

三年目の今年は、絶対に失敗するわけにはいきません。私は色々な本を読んだり、おばさんに相談したりして、育て方を勉強しました。そして、三種類の育て方をして

それぞれの生長のちがいを調べる事にしました。

でも一種類の苗の育ち方が悪くてとても悩みました。そんな時、とてもうれしい出来事と発見がありました。

母の知り合いの農家の人に苗の育て方や、農業についての事を色々聞きに行った時の事です。その家のおじさんや、おばさんは、とても真剣に私の話を聞いてくれて、水の管理や、肥料のあげ方、中干しの仕方などとても親切に教えてくれました。昔と今の農作業のちがいや、昔の庄内平野の様子なども教えてくれました。そしておじさんは、こんな事も言っていました。

「昔は今とちがって農作業もとても手間がかかって、天気の具合や、水害などでまったくお米が取れない年もあったそうさ。おじさんは少し便利になってからの農業しか知らねども昔の人の知恵と努力を受けてついで農業を続けでんだ。」

私はリレーだと思いました。昔の人の知恵や、努力、苦労がいつぱいつまったバトンを受け取り、そして、また新しい知恵や努力をつめて次の人に渡す。私達が今おいしいご飯をおなかいっぱい食べられるのは、大昔から続いて来たリレーのおかげなのだと思ふのです。そ

して、おじさんとおばさんの話を聞いて、稲作についてのアドバイスを受けたわたしもほんの小さなバトンだけでなく、それを受け取ったような気持ちになって、とてもうれしくなりました。私は、おじさん、おばさんに教えていただいた方法で自由研究を成功させて、昔の人達の知識や、苦労や、努力を学校の友達や、家族や、私の周りの人達に伝えたいです。それが私にできる「小さなバトンリレー」だと思うからです。そして、これからも、食事の時や、田んぼをながめる時に思い出して、この小さなバトンを大切にしていきたいと思います。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

おじいさんの『おいしい米』を考える

鶴岡市立朝日小学校六年 伊藤 浩司

「よし、苗の芽も出てきたし、田植えの準備するが。」

今年も間もなく、田植えの時期だ。田植え機を洗ったり、田んぼの準備もできたりしたところ、おじいさんがこう言った。でも、今年はずっと様子がちがう。続けて、おばあさんに、こうたずねていた。

「手術、田植えの後ではだめだろうか？」

おばあさんは、すかさず

「だめだめ。今年は田んぼ、あきらめて休んでくれ。」

「田植えは人に頼む。あとはおれがやる。」

「そんなごととして、農薬いっぱい使っては、買ってくれ
る人を裏切ることになるよ。」

それを聞いたおじいさんが、やっとあきらめる気持ちになつたようだ。ぼくも、おばあさんと同じだ。おじいさんには、しっかり元気になってから、米づくりに戻って

もらいたい。何と言っても、おじいさんの作った米が一番おいしくて安全なのだから。

おじいさんの米づくりに対する情熱は、ぼくが一番よく知っている。ただ、たくさんの米を穫り、高い値で売ろうとしているのではない。苗のころから、子どものように手間と愛情をかけて、大切に育てているのだ。五月から九月にかけて、おじいさんはほぼ毎日、家と田んぼを往復する。苗の丈、水の量、病気の有無、いったい今日は、何をしに田んぼに行ったのか、と思うくらい、大切に世話をしている。

そんなおじいさんが、今年は田んぼを休まなくてはならなくなった。おばあさんの、「農薬いっぱい」の言葉に心が留まったようだ。手間をかけて育てる、ということとは、おいしい、良質の米にする、だけのことではなかったのだ。買ってもらう人、食べてもらう人への安心、安全をも考えることだったのである。

農薬や化学肥料により、土地がやせたり、土中に農薬成分が残ってしまうことも心配である。無理をしたことで、大量の農薬を使うことになれば、その「つけ」は来年以降にも残っていく、というのだ。

「おいしい、って言うのは、味だけでなく、作った人の愛情も入ってっからだよの。」

おじいさんは、そう言いながら仕事をしていた。ぼくも、それを聞いて、おじいさんの手伝いも心をこめてやるようにした。

けれども、今回のおじいさんの決断で、米に対しての思いがもっと深いものであることを知った。自分の米を愛し、食べてくれる家族、そして名も知らぬ消費者の人たちに、安全で体にもよいものを食べさせたい。土、ひいては、ぼくたちが生きる未来の大地を美しく残したい、ということだ。おじいさんの体のことはもちろん、思いも忘れずに、その背中を見つめていこうと思う。手術を終え、無事に退院したおじいさんが言った。

「ちよっと、田んぼ見て来るがの」



■山形県知事賞■

父の教え

鶴岡市立朝日中学校二年 有賀 この美

「暑いなあ、こんなに暑い日の田植えはやんだなあ、へびもいるしい。」

と、私がだらだらしていると父は、

「暑っちえば、苗はいい気持ちで田んぼに落ちつけるし、へびがいる事でねずみを退治する。みんなちゃんと理由があるんだ。」

私はうなずきながら田植えの準備をしている父を見た。

今日の田植えは兄が主役だ。昨日まで父を乗せて働いていた田植機は兄を当り前のように乗せて動いている。

「残りの四枚は、あどお前さまかせるからな、頼んだぞ。」

父の言葉に兄は緊張した顔でうなずいた。最初はゆっくりにそして段々速くなった。でも兄以上に父の顔がきびしくなっていく、

「お父さん、なんでこんなに難しい田んぼ植えらせるな

や、もつと真四角のいい田んぼ残せばいいのに。」

「いいなだ、この田んぼがいいなだ。」

そう言いながらじつと見つめている。機械の近くに行ったり時々何か言いたそうにしているがそれでも黙って見ている。その間、私は母と姉と黙々と働いていた。突然、「そうでねえろや、何やってんなや、良く見てやらねばだめだろ。」

父の声が響いた。今まで黙っていた父が兄に注意し始めた。私はお父さんは意地悪だと思った。難しい田んぼをわざと残してまだ経験の浅い兄に植えさせて、あんなに大きい声で怒って。私は父にいきなりがこみあげてきた。

「なかなかうまいろ、曲がってないし、まっすぐ植わってるろ。」

と兄は得意気に言っていたのに、何も話さなくなった。父に言われっ放しで黙りこんでいる。今日で田植えが終わりなのに父のせいでみんなおもしろくない気分になってしまった。

「なんでや、みんながんばって田植えしているなさ、やりたい事もがまんして手伝ってんなさ、農家なんかあどやんだ。」

私は思ってもいないのに口から出てしまった。なんでそんな事を言ったのか自分でもわからなかった。みんなで食べる一服はとても楽しいし、お父さんの手伝いも好きなのに…。私は私の言葉に涙が出そうになった。その時、母は、

「お父さん、いいかげんにしたらどうだ。お父さんはうまくて当り前。だけど兄ちゃんも精一杯やっているのはわかっているろ。お父さんだって最初からうまくいったわけではなかったらう。」

そう母から言われると、父は少しかっこ悪そうにしていた。

「兄ちゃんなかなかうまいぞ。その調子であど少しだ。頼むぞ。」

兄にかけた母の言葉はその場の空気を軽くした。私はちよつとほつとした。最後の一周で終わりだ。みんな兄に集中した。

「よし出来た。今年もうまい米になれよ。」
家族みんなで田んぼの苗に思いを伝えた。疲れきったみんなの耳に母の声が響いた。

「さあ、今日は外でバーベキューだぞ。」

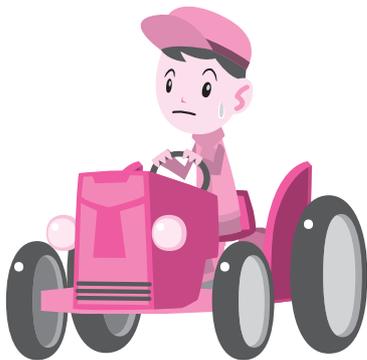
肉を焼きながらみんなで兄をほめていた。兄はうれしそうに、

「来年はもつとうまくやるぞ。今日もなかなかだったけど。」

私は不思議だった。あんなに怒られて、もうやりたくないはずなのに、なんで怒っているんだろう。家族みんなが今日の話をして笑っていた。

今年、父は五十二歳。三十年以上もずっと田んぼにたずさわってきた。「田んぼに定年はない、体が動く限り米を作るぞ。」父の言葉に終わりはない。だけど兄がいつの日か受け継いでいくのだろう。お父さんの田んぼが笑っている。お兄ちゃんの田んぼも笑っている。

「おうい、おいしいお米になれよ。」



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

米は偉大だ!!

米沢市立第四中学校二年 我妻 隆羅

私は七月二十八日から八月九日に、国際事業派遣の企画でオーストラリアのバーストに行ってきました。ホストファミリーのお父さんやお母さんや娘さんは、とても朗らかで温かい方々でした。

日本をはなれてオーストラリアの食事にも慣れはじめてきたステイ四日目の日曜日の夕食時のことでした。ステイ先のお母さんに、「日本の味が恋しいでしょ。」と、気をつかってもらい、細長いお米を炊いて出してもらいました。日本と同じ様に炊飯器で調理していて、びっくりしました。炊き上がったお米をまるいボウルに移しかえて、枝豆などを食べるような副食感覚でお米を食べるということに、異文化を感じました。食べてみると、冷蔵庫に入りっ放しで水分がぬけ、パサパサになってしまったご飯のような食感でした。普段、日本の米を食べ

慣れている私には、とても違和感を感じるものでした。

その後、日本文化紹介でカレーライスを作りました。カレー粉は私が日本のスーパーからいつも食べているカレー粉を用意し、お米は祖母の実家で作っているお米（米沢のはえぬき）を分けてもらって、持っていました。カレーの方は、普段と同じ作り方だったので簡単に作る事ができたのですが、問題はお米を炊くことでした。以前、お米を分けてもらった時に「炊飯器で炊いたご飯もおいしいけど、鍋で炊いたお米もまたひと味違っておいしいよ。」と言われたので、今回は鍋でご飯を炊くことに挑戦しました。オーストラリアに行く前に何回か自宅で鍋でご飯を炊く練習をしていましたが、家族以外の人に食べてもらうのは初めてのことだったのでおいしいと言ってもらえるか、とても不安でした。しかし、練習の甲斐があつて炊き方は失敗しませんでした。自宅で練習した時よりも粒に輝きが足りないような感じがしました。原因を考えましたが、日本とオーストラリアでは、水が違うからではないかと思いました。

こうして、なんとか出来上がったカレーライスをステイ先のホストファミリーに振る舞ったところ、「これはと

でもうまい!!」と何杯もおかわりをしてくれました。その時に、「カレーもおいしいけど、この日本のお米がとくにおいしいよ。」とホストファミリーのお母さんが言ってくれたことが特に印象的でした。この言葉を聞いた時に、オーストラリアの人から日本の米を食べておいしいと言ってもらえたことは、日本で生まれ日本のお米を食べて育った私にとって、とてもうれしい出来事ではありませんが、同時に、この日本のお米のおいしさを知らない人がまだこの世界にたくさんいるということが、少し残念でもありました。

オーストラリアから帰ってきてから、お米について調べてみると、世界で食べられているお米の大部分が、今回食べたような長粒種だということ、日本人が普段食べている日本のお米というのは、日本人の舌に合わせて品種改良されてきたもので、食べているのは圧倒的に日本人だということが分かりました。

このおいしい日本のお米をつかった料理を世界に広めていきたいと考えています。外国の人達は、日本のお米といえば寿司やおにぎりしか知らない人が多い様なので、それだけではなく、餅やせんべい、おはぎ、赤飯、季節

のかわりご飯など、またお米を粉末にして作ったお米パンやお米うどんなど、お米から生まれたたくさん料理を世界中の人達に深く知ってもらいたいと思いました。



作文部門審査講評

山形県教育庁義務教育課指導主事 佐藤昌彦

第三十三回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作文部門には、県内六五校より三七三点の応募がありました。

全国コンクールでは、鶴岡市立斎小学校五年、鈴木彩さんの「知恵と努力のバトシリレー」が優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

受賞した作品だけではなく、どの作品も、一人ひとりの思いのこもったすてきな作品でした。作文を通して生き生きと生活する皆さんと出会える機会をいただいたことに感謝したいと思います。

さて、県審査の結果、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞された作品を紹介いたします。

第一部（小学校一年生から三年生まで）

○「あらいごはん さいこう」（鶴岡市立朝陽第二小学校二年・押野明純・山形県知事賞）は、家族の笑顔が目に浮かぶ温かな作品です。漬物とシヤケ、そして冷たい井戸水、決して贅沢ではありません。けれどもまぶしい夏の日差しの下、手で食べる「あらいごはん」は、自然の恵みたっぷりのこの上ないご馳走なのでしょう。「こでらんねえ。」と思わずもろした言葉が、作品のテーマを見事に言い表しています。

○「につぼん一のおにぎり」（山形市立出羽小学校一年・会田空翔・山形県農業協同組合中央会会長賞）は、おばあちゃんと空翔さんのどかで優しい生活の様子に、読み手の心も温かくなるような作品です。大きなおにぎりを食べて、黄色の稲穂が頭をたれる道を元気に駆け回る、そんな山形の原風景が、素直な表現で生き生きと描かれています。

第二部（小学校四年生から六年生まで）

○「知恵と努力のバトシリレー」（鶴岡市立斎小学校五年・鈴木彩・山形県知事賞）には、三年間のプラントーでの稲作体験をきつかけに、農家の人との関わりを通して、米作りに対する考えを深めていく過程が丁寧に描かれています。また、題名にもなっている「知恵と努力のバトシリレー」という比喩が時代を越えて米作りに取り組んできた人々のつながりを見事に言い表しています。

○「おじいさんの『おいしい米』を考える」（鶴岡市立朝日小学校六年・伊藤浩司・山形県農業協同組合中央会会長賞）は、おじいさんの手術をきつかけに、浩司さんの米作りに対する見方が変容し、心も成長していくのを感じるこのできる作品でした。家族だけではなく消費者に対しても注がれる思いやりを綴ったことで、米作りに対するおじいさんの厳しい姿勢が読み手にもしっかりと伝わってきます。

第三部（中学校一年生から三年生まで）

○「父の教え」（鶴岡市立朝日中学校二年・有賀この美・山形県知事賞）は、初めての田植機の操作にチャレンジするお兄さんと見守るお父さんの真剣なやりとりを中心に、家族の絆を、真つ直ぐに表現した作品です。家族それぞれの思いが会話文に表されており、最後の「父の田んぼが笑っている」という言葉で一つに集結し、美しい情景描写とともに、読み手をさわやかな気持ちにしてくれます。

○「米は偉大だ!!」（米沢市立第四中学校二年・我妻隆羅・山形県農業協同組合中央会会長賞）は、オーストラリアでのホームステイでの体験と気づきをその人にしか書くことのできない言葉で綴ったオリジナリテイーの感じられる作品です。お互いの食文化を尊重しながら、食べ慣れた日本の米食の豊かさに目を向けていくという展開が、中学生らしいしっかりとした構成でまとめられています。

ここでは紹介できなかった作品にも、体験を通して実感したこと、考えたことを中心に、その子にしか書くことのできないものが数多くありました。米・稲作を見つめることを通して、「家族の絆」「地域の豊かさ」「伝統文化のすばらしさ」など、自分をとりまく身近な豊かさに目を向けていく皆さんの姿が、のびのびと表現されています。審査を通して、私自身、身近なものを改めて見つめること、そして、自分とのつながりの中でその意味をしっかりと考えてみるこの大切さを学ばせてもらいました。

自分の体験を自分の言葉で表現してみることは、皆さんのもの見方、考え方をより一層成長させることでしょう。来年度も、成長したみなさんの作品がここに集うことを楽しみにしています。

図画部門審査講評

山形市立第十中学校校長 吉田 明

第三十三回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門には、県内一九校から九八九点の作品応募がありました。その中から優れた作品を選ぶ県審査を行いましたので、結果を紹介します。

第一部（小学校一年生から三年生まで）

○「ごはんだいすき」

（尾花沢市立明德小学校一年・阿部篤・山形県知事賞）

「いただきますーすー」という声が聞こえてきそうです。おいしそうな顔、持ち上げた箸と納豆のねばりが「早く食べたい！」という気持ちになって表れています。ぱつと見たときに納豆のねばねばや味まで伝わってきました。お米が大好きなんですよね。お米で作られたものが周りにたくさん描きこんであります。

○「いねかり手つどうよう!!」

（尾花沢市立明德小学校三年・菅野颯・山形県農業協同組合中央会長賞）

稲刈りの体験で感じたことが画面いっぱい表現されています。かまを使ったこと、黄金色の稲穂に包まれたこと、現場で活躍する車両や器具など、余すところなく表現されています。特に金色の稲穂の色が印象的で実りの秋のある一日をよく感じさせてくれます。

第二部（小学校四年生から六年生まで）

○「初荷だ、出荷だ、新米だ！」

（山形市立南小学校六年・會田次郎・山形県知事賞）

活気あふれる新米の出荷の様子が、画面いっぱい描かれています。荷を積む人達の威勢のよい掛け声が聞こえてきそうです。大きく力強く描かれたトラックも働く人達の赤い法被も初出荷の喜びを表現しているようです。やつと収穫したおいしいお米が、出荷されているのを共に喜びながら描いた作品です。

○「うまい！あらいごはん」

（鶴岡市立朝陽第二小学校四年・押野尚道・山形県農業協同組合中央会長賞）

暑い暑い夏の冷たい昼時でしょうか。「ぼく」が冷たい井戸水で洗ったご飯を夢中で食べている様子が生き生きと描かれています。井戸水を汲む父親、なすときゅうりの漬け物を差し出す母親、また、近くで笑ってみているのは妹でしょうか。家族のにぎやかな声が聞

こえてきそうです。家族との関わりの中に見える「お米のおいしさ」です。

第三部（中学一年生から三年生まで）

○「おいしいお米になるといいな」

（山形市立金井中学校一年・武田可奈子・山形県知事賞）

仲間とともに行った田植えの様子を描きました。夏に向かう季節の勢いや、風まで感じられます。田に注がれた新鮮できれいな水がぬかるんでくる感じまで伝わります。足や衣服についた泥が次第に乾いていく様子もうまく表現されています。みんなの歓声まで聞こえてきそうです。

○「私の周り、稲と友」

（山形県立酒田豊学校中学部二年・岡部咲・山形県農業協同組合中央会長賞）

学校で行った体験学習でしょうか。仲間と稲刈をした様子を描きました。真剣に作業を進めている雰囲気伝わってきます。かがんで作業をする生徒、立ち上がっている生徒などの構図も工夫されています。見事に実った稲の金色がともきれいです。衣服に差す光や影も丁寧に描かれています。

県学校奨励賞は尾花沢市立明德小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。

また今年度特筆すべきは、全国審査で山形市立第九中学校三年栗野梨恵さんの「収穫作業」が全国トップの内閣総理大臣賞を受賞したのをはじめ、山形市立南小学校六年の會田次郎くんの「初荷だ、出荷だ、新米だ！」が優秀賞に、そして山形市立第九中学校が学校奨励賞を受賞するという素晴らしい成果を上げたことです。

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門に応募された作品は、どれもお米をテーマにしながら自然の中で人々の働く姿や家族の団欒・友達とのふれあいなど心暖まる場面が生き生きと表現された作品で満ちあふれています。

「お米・ごはん」は日本の食だけでなく、出来上がるまでの過程やその風景・人間関係を含めた日本の「文化」そのものだと思います。そんな日本の文化を表現する際、表したい一人ひとりの「思い」や「こだわり」が感じられる作品をこれからも望みたいと思います。

「こはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 第22回〜第33回 入賞一覧

作文部門

図画部門

第27回	第26回	第25回	第24回	第23回	第22回
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 伊藤 佐久磨 (朝日村) 小野寺 寛貴 (鶴岡市) 菅原 香織 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美 (朝日村) 本間 稚菜 (鶴岡市) 安孫子 郁 (天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香 (高畠町) 阿部 亜紗子 (最上町) 大貫 秀平 (最上町) 清野 史拓 (朝日村) 佐藤 拓夢 (鶴岡市) 岸 はづき (最上町) 渋井 彩希 (山形市) 二戸 浩大 (最上町) 阿部 貴敏 (最上町) 秋野 寛齋 (鶴岡市) 松田 恵 (南陽市) 川崎 成也 (南陽市) 清野 郁 (朝日村) 中里恵里香 (朝日村) 難波 和宏 (鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 今井 大輔 (鶴岡市) 大場 世和 (米沢市) 小野寺千賀 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 水谷ひらり (山形市) 結城 智裕 (最上町) 渡辺真理子 (高畠町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈 (朝日村) 大場 たくや (最上町) 鈴木 玲奈 (高畠町) 後藤 なつみ (高畠町) 志藤 貴俊 (三川町) 大藤 麻由 (最上町) 大場 剛 (最上町) 和田真由子 (鶴岡市) 石山 樹里 (最上町) 清野 郁 (朝日村) 佐藤 和磨 (山形市) 清野 優 (朝日村) 清野 舞 (朝日村) 遠藤 晃毅 (朝日村) 井上 寛子 (天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 岸 詩音 (最上町) 難波 裕和 (鶴岡市) 佐藤 望 (天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 森 麻美 (榊引町) 佐藤 香織 (山形市) 清野 舞 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 今井 大輔 (鶴岡市) 三浦 幸希 (鶴岡市) 酒井 健太 (山形市) 佐藤 大輝 (鶴岡市) 佐藤真生子 (最上町) 齋藤 那千 (朝日村) 阿部 貴敏 (最上町) 小野 翔 (米沢市) 安達 美有 (朝日村) 佐藤 若佳 (最上町) 菅原 香織 (朝日村) 大滝まど佳 (朝日村) 菅原 泰隆 (鶴岡市) 荒井 郁 (山形市) 小林千恵子 (鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 阿部 将敏 (最上町) 橋本 菜穂 (最上町) 伊藤 明希 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 渡邊 雅正 (酒田市) 阿部 奈美 (鶴岡市) 斎藤芽衣子 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 白幡 梓 (鶴岡市) 丸山 里佳 (榊引町) 田中 麻衣 (山形市) 斎藤 陽一 (山形市) 高橋 真莉 (最上町) 渡辺 大 (南陽市) 加藤 梓 (鶴岡市) 押切 成美 (最上町) 安達 千李 (三川町) 古川 悠 (高畠町) 遠藤 俊一 (天童市) 清野 舞 (朝日村) 清和 千秋 (榊引町) 瀧口 夏子 (天童市) 庄司 千鶴 (朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 本間 明音 (鶴岡市) 渡部 大地 (朝日村) 有賀真紀子 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 黒坂 雄志 (最上町) 竹田実穂子 (米沢市) 斎藤芽衣子 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕 (最上町) 岸 詩音 (最上町) 高橋 隆浩 (高畠町) 稲葉 彬 (天童市) 近野健三郎 (高畠町) 阿部 晴美 (最上町) 小野寺美夏 (朝日村) 大谷部沙李 (飯豊町) 原田 久美 (最上町) 田中絵理加 (高畠町) 結城 重則 (東根市) 高橋 愛実 (山形市) 佐藤 牧 (朝日村) 原田 智広 (高畠町) 本木いずみ (東根市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 三浦 春菜 (鶴岡市) 黒坂 星児 (最上町) 萩原菜ツ美 (高畠町)</p> <p>●県中央会会長賞 大石 美恵 (最上町) 菅 喜美広 (最上町) 森谷さとり (天童市)</p> <p>●優秀賞 阿部 裕子 (尾花沢市) 菅原 南 (鶴岡市) 高橋 隆浩 (高畠町) 加藤 梓 (鶴岡市) 藤畑 康宏 (最上町) 佐藤 晃実 (最上町) 奥山 恵里 (最上町) 石山 崇人 (最上町) 阿部 留佳 (朝日町) 菅 晃菜 (最上町) 島津 智子 (高畠町) 佐藤真寿美 (高畠町) 阿部 哲 (南陽市) 伊藤 千尋 (朝日村) 小川 結 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立斎倉小学校 高畠町立第一中学校</p>
<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 今野絵理奈 (鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 佐久磨 (朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 庄司 光 (藤島町) 本間 公章 (温海町)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕 (最上町) 佐藤 世和 (米沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 遠藤 晃毅 (朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日中学校</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 結城まどか (最上町)</p> <p>●優秀賞 橋本 菜穂 (最上町) 伊藤 明希 (朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 宮嶋 由季 (最上町)</p> <p>●優秀賞 本間 明音 (鶴岡市) 黒坂 雄志 (最上町) 有賀真紀子 (朝日村) 斎藤芽衣子 (朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●文部大臣賞 佐藤 智香 (朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日中学校</p> <p>●優秀賞 阿部 裕子 (尾花沢市) 黒坂 星児 (最上町)</p>
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 荘司 留加 (尾花沢市) 伊藤 祐太 (尾花沢市) 村上 美紀 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成 (鶴岡市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 武田亜沙美 (山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 菜菜 (尾花沢市) 村岡 孝一 (尾花沢市) 有路 香子 (尾花沢市) 渡部 香菜 (朝日村) 佐藤 史彬 (高畠町) 渡辺 大平 (尾花沢市) 菅野 慎也 (尾花沢市) 有路 里香 (尾花沢市) 古瀬 裕真 (尾花沢市) 阿部 貴文 (鶴岡市) 古川 知美 (山形市) 須貝 恵美 (山形市) 高島 香織 (山形市) 椎名 俊一 (山形市) 鈴木 聖美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 清野 史拓 (朝日村) 小林 由佳 (山形市) 高島 香織 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 武田 翼 (尾花沢市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 小松 恵梨 (山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 奨平 (尾花沢市) 佐藤 奨啓 (寒河江市) 有路 健太 (尾花沢市) 工藤 大周 (西川町) 佐藤 秀太 (寒河江市) 五十嵐 隼 (朝日村) 土屋 昶史 (尾花沢市) 安達 美咲 (高畠町) 倉金 侑香 (尾花沢市) 永沢 都 (尾花沢市) 田村 里奈 (山形市) 村上 美紀 (山形市) 須貝 恵美 (山形市) 本田 裕子 (山形市) 長岡亜由美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 半田さやか (山形市) 菅野 慎也 (尾花沢市) 長嵩 絵理 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅 友絵 (最上町) 小野麻里子 (尾花沢市) 齋藤 利恵 (米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 凌 (寒河江市) 岸 英里香 (最上町) 小林 育実 (最上町) 佐藤 拓実 (鶴岡市) 丹野 泰長 (山形市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 片岡 勇人 (最上町) 佐藤かおり (山辺町) 大久保 康 (藤島町) 福田紗矢佳 (最上町) 高島 香織 (山形市) 鈴木 綾 (米沢市) 小野友加奈 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 熊谷 朋美 (尾花沢市) 渡辺 麻美 (尾花沢市) 佐藤 瑠子 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 須田 雄飛 (鶴岡市) 鈴木 愛香 (寒河江市) 長岡 和美 (山形市)</p> <p>●優秀賞 原田 初美 (尾花沢市) 吉田 龍一 (大石町) 結城 弘斗 (最上町) 佐藤 成美 (尾花沢市) 船山 達郎 (白鷹町) 土屋 範晃 (尾花沢市) 五十嵐祐大 (鶴岡市) 村井 法子 (尾花沢市) 西尾 円華 (尾花沢市) 岸 貴大 (尾花沢市) 矢口 亜紀 (山形市) 井上 庸 (上市市) 鈴木 裕子 (山形市) 西村 愛子 (山形市) 青柳 悠香 (天童市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立寒河江中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 五十嵐祐大 (鶴岡市) 菅野 瞳 (尾花沢市) 武田 彩子 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 西塚 眞治 (尾花沢市) 今野 里紗 (鶴岡市) 長尾 藍 (山形市)</p> <p>●優秀賞 小林 由典 (白鷹町) 落合 和也 (尾花沢市) 木村 和 (鶴岡市) 佐藤 綾子 (尾花沢市) 本間 翔太 (尾花沢市) 高橋 茉莉 (最上町) 大山 美幸 (尾花沢市) 赤松かおり (最上町) 工藤 竜也 (尾花沢市) 佐藤 伸也 (新庄市) 鈴木 裕子 (山形市) 友寄 歩惟 (上市市) 庄司美智子 (上市市) 遠藤真理子 (山形市) 遠藤由紀子 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上市市立北中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 本間 裕紀 (尾花沢市) 飛渡 沙織 (大石町) 菊池 佳子 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 遠藤 美佳 (尾花沢市) 渡部 達 (朝日村) 佐藤 瑠子 (山形市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 由貴 (尾花沢市) 渡部みなみ (高畠町) 荒木 渚 (鮎川村) 横山 浩輔 (尾花沢市) 高橋 真美 (最上町) 北條 隆大 (最上町) 星川 瑠美 (尾花沢市) 小野 貴紀 (尾花沢市) 高橋 梨絵 (最上町) 庄司 修 (最上町) 溝越 清美 (山形市) 公平 央恵 (米沢市) 小野 展裕 (山形市) 武田 彩子 (山形市) 吉田由紀子 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 岸野 理沙 (山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 瞳 (朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 斉藤祐季子 (山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 奨啓 (寒河江市) 倉金 侑香 (尾花沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●文部科学大臣賞 長岡 和美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立金井中学校</p> <p>●優秀賞 阿部 凌 (寒河江市) 菅野 慎也 (尾花沢市) 長嵩 絵里 (山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 斎藤 翠 (山形市)</p> <p>●優秀賞 渋谷 侑 (寒河江市)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 高橋 絢子 (上市市)</p> <p>●優秀賞 須田 雄飛 (鶴岡市) 早坂 卓也 (余目町) 五十嵐隆介 (尾花沢市) 庄司亜利沙 (山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 本間 裕紀 (尾花沢市) 遠藤 美佳 (尾花沢市) 飛渡 沙織 (大石町) 庄司 修 (最上町) 佐藤 瑠子 (山形市) 溝越 清美 (山形市) 菊池 佳子 (山形市)</p>

第33回	第32回	第31回	第30回	第29回	第28回
<p>山形県 ●県知事賞 押野 明純(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 有賀この美(鶴岡市) ●県中央会会長賞 会田 空翔(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 我妻 隆羅(米沢市) ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市) 井上 秀香(真室川町) 山口 まの(鶴岡市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 渡部 寿彦(鶴岡市) 黒井 紀香(鶴岡市) 瀬川 隼矢(庄内町) 金野 華奈(鶴岡市) 保科 拓也(鶴岡市) 尾形 有生(米沢市) 進藤小百合(米沢市) 小野寺奈々(鶴岡市) 安達 景都(鶴岡市) 小野寺千尋(鶴岡市) 小野寺陽奈(鶴岡市) 佐藤 理奈(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立齋小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市) ●県中央会会長賞 後藤 怜(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市) ●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 諒(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市) ●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 滯(米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市) ●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高島町) 金野 華奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 遠藤 拓実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(鶴岡市) 後藤 萌(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市) ●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市) ●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 齋藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市) ●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市) ●優秀賞 阿部 貴之(榊引町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 橋本 大来(最上町) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高島町) 香澤 真佑(最上町) 大浦 沙織(高島町) 齋藤 那千(朝日村) 御橋夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村) ●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村) ●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞穂(東根市) ●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 響子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稲垣 菜里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝村 理沙(山形市) 宮崎加奈子(朝日村) ●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>
<p>全国 ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 金野 華奈(鶴岡市) ●全国中央会会長賞 高橋 理久(村山市) ●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校 ●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 大池 清士(米沢市) 大道寺 滯(米沢市)</p>	<p>全国 ●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 ●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p>
<p>山形県 ●県知事賞 阿部 篤(尾花沢市) 會田 次郎(山形市) 武田可奈子(山形市) ●県中央会会長賞 菅野 颯(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 尾形 咲(酒田市) ●優秀賞 島津 諒(高島町) 加藤 翔龍(尾花沢市) 佐藤 愛竜(尾花沢市) 藤井美名保(尾花沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 伊藤 陸(天童市) 今野杏有子(三川町) 藤田 麗(鶴岡市) 井上 和也(尾花沢市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 佐藤 緑(山形市) 渡邊 千咲(山形市) 上林 穂末(山形市) 鈴木 里奈(山形市) 加地 明里(米沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立明德小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市) ●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市) ●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高島町) 菅野 静香(尾花沢市) 香澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 栞(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市) ●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市) ●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市) ●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高島町) 小黒 拓真(高島町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塚 祐斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 拓也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市) ●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市) ●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笹原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 浩真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 茉純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市) ●県中央会会長賞 笠原 錬(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市) ●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉山 卓実(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 齋藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上山市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市) ●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 菅原 瑞純(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市) ●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗矢(朝日村) 板垣 友也(山形市) ●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 日下部まどか(山形市) 設楽なつみ(山形市) 清野 美香(山形市) 伊藤 歩(山形市) 吉田真優美(山形市) ●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国 ●内閣総理大臣賞 栗野 梨恵(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 次郎(山形市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 會田 次郎(山形市) ●学校奨励賞 山形市立南小学校 ●優秀賞 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 須藤 萌(山形町) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町)</p>	<p>全国 ●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市) ●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 茉純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 栗野幸智恵(山形市) ●全国中央会会長賞 伊藤 拓也(朝日村) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>

第33回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：373点
 図画：989点 合計 1,362点

区分	第1部	第2部	第3部	計
作文部門	58点	84点	231点	373点
図画部門	550点	412点	27点	989点

■審査

(1) 県予選審査期日

作文部門 平成20年10月29日(水)
 図画部門 平成20年10月27日(月)

(2) 全国コンクールの結果

内閣総理大臣賞1名(図画第3部)
 優秀賞2名(作文部門1名、図画部門1名)
 学校奨励賞1校

(3) 県コンクール県審査会期日

(作文・図画部門合同で開催)
 平成21年1月20日(火)

(4) 入選作品数

山形県知事賞 作文3点、図画3点
 山形県農業協同組合中央会会長賞 作文3点、図画3点
 優秀賞 作文15点、図画15点
 学校奨励賞 作文2校、図画2校

■審査員

作文部門(6名)

審査委員長 佐藤 昌彦氏(山形県教育庁義務教育課 指導主事)
 牧野 之子氏(西川町立睦合小学校 教諭)
 山田 裕子氏(寒河江市立柴橋小学校 教諭)
 工藤 幸子氏(大江町立左沢小学校 教諭)
 伊藤恵美子氏(山形市立第五中学校 教諭)
 加賀 修子氏(東根市立第三中学校 教諭)

図画部門(4名)

審査委員長 吉田 明氏(山形市立第十中学校 校長)
 神野 恭一氏(山形大学附属小学校 教諭)
 森谷 操氏(中山町立長崎小学校 教諭)
 笹原 聡氏(山形県教育庁村山教育事務所 指導主事)

■表彰式

平成21年2月7日(土)

山形市「山形国際ホテル」

年度	部門	第1部	第2部	第3部	合計
4 (第17回)	作文 図画	212 982	350 767	135 32	697 1,781
5 (第18回)	作文 図画	210 1,276	359 964	217 54	786 2,294
6 (第19回)	作文 図画	167 1,164	330 820	179 53	676 2,037
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989

●第33回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領●

1. 趣 旨

このコンクールは、お米・ごはん食、稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、お米・ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらおうとともに、次世代の子供たちに稲作農業が果たす多面的な働きとお米・ごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

2. 「作文・図画の課題」「応募資格」

「応募規格（枚数・大きさ）」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙2枚)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰市販原稿用紙3枚)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙4枚)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
- 2部 小学校4年生～6年生
- 3部 中学校1年生～3年生
B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

【応募規則】

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上は応募できません。
- (4) 図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表を必ず添付してください。
- (6) 作品には、1点ごとにつぎの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)
つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。
①作品の題名 ④学校所在地(郵便番号・電話番号)
②氏名・性別 ⑤本人住所(郵便番号・電話番号)
③学校名・学年・組 ⑥J A名(農協名)
- (7) 大臣賞およびJ A全中会長入賞作品はJ A全中にて1年間保管し、県知事賞・J A山形中央会会長賞作品は、1年間協同の杜J A研修所に展示しますが、

これ以外の作品は返却します。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会に帰属します。

- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報、承諾なく第3者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

3. 締切日

平成20年10月10日(金)(必着)

4. 入賞発表

全国発表 平成20年12月1日
本県発表 平成21年1月22日

5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

- 山形県知事賞
両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書券)
- 山形県農業協同組合中央会会長賞
両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書券)
- 優秀賞
両部門各部門ごとに5名 計30名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書券)
- 学校奨励賞
両部門ごとに2校 計4校
(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書券)

6. 審査員

県教育庁、小・中学校教諭、J A山形中央会

7. 応募先

- (1) 県内の各J Aを受付窓口とします。
- (2) 県段階は次に問合わせください。
〒990-0042
山形市七日町三丁目1-16
山形県農業協同組合中央会
(J A山形中央会)
農業農政部
「作文・図画コンクール」係
TEL 023-634-8114
FAX 023-633-1754

8. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。
- (2) 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の課題		
ふりがな氏名		性別 男・女
ふりがな学校名	立	学校 年 組
ふりがな学校所在地	〒	TEL
ふりがな本人住所	〒	TEL
J A名 (農協名)		

(注) 太い線で囲んだ部分は必ず記入して下さい。ふりがなも必ず記入して下さい。